

住宅向け約1ポイント増加 (2012年度の壁紙需要先アンケート)

住宅向け63.4%、非住宅36.6%、新築65.3%、リフォーム34.7%

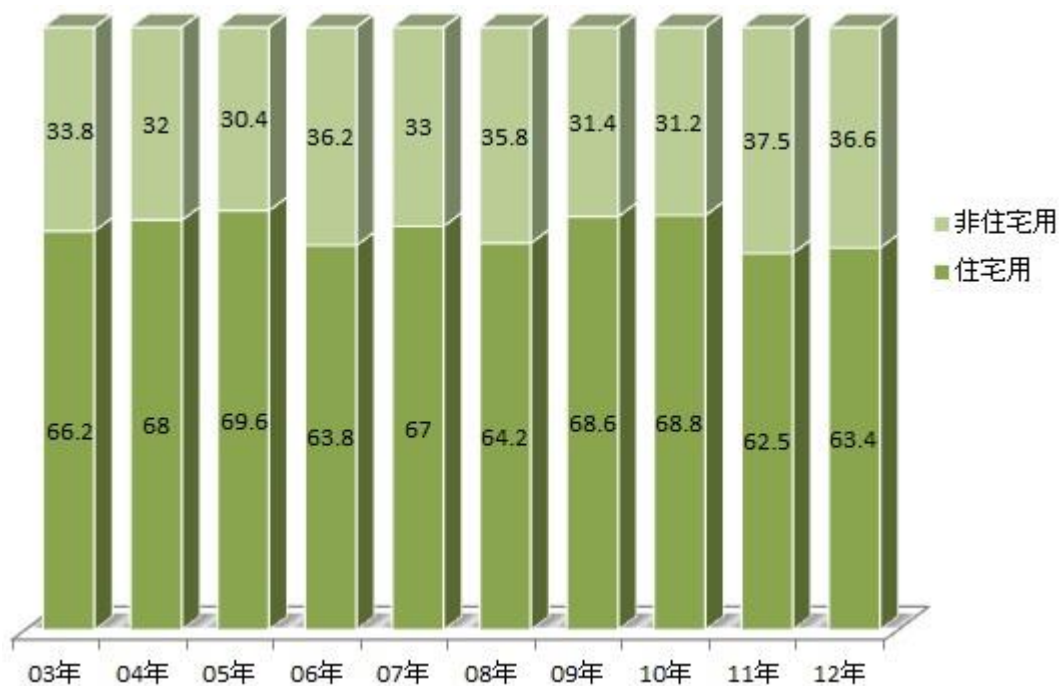
推計総需要量672,000千㎡

4月上旬にブランドメーカー及び二次卸店に2012年度の壁紙の需要先を聞くアンケートを行った。

その結果、住宅向けが63.4%で、前回調査に比べ約1ポイント増であった。

一方、住宅・非住宅を問わず、新築とリフォームの比率を聞いた結果は、新築が65.3%の3.8ポイント増で、新築向け需要が高かったことが分かった。

また、12年度の壁紙出荷量672,000千㎡と推計し、需要先別構成比を当てはめると、住宅向けは426,000千㎡、新築向けは438,816千㎡となった。アンケートは例年通り、各社が売り上げた壁紙の需要先を住宅向けと非住宅向けに分け、その構成比を聞いた。また、非住宅向けを①商業建築、②学校・病院等、③オフィス、④その他の4項目に分け、非住宅向けを100とした場合のそれぞれの比率も聞いた。



さらに、その両者を合計した全需要の、新築とリフォームの比率も回答してもらった。需要先比率は表1で見ると通り、全回答の平均では、住宅63.4%、非住宅36.6%で、ブランドメーカーの住宅の非利率が前年度より4ポイント上がっている。

表1 2012年度壁紙需要先比率 住宅・非住宅(%)

	住宅	非住宅
ブランドメーカー	60.0	40.0
二次卸	66.9	33.1
平均	63.4	36.6

非住宅向けの内訳を表2で見ると、商業建築向けが伸び、オフィスが減少している。

表3は新築とリフォームの比率だが、前年度と比べ新築が2ポイント増、リフォームが2ポイント減であったことが分かる。

表4は、新築とリフォームのそれぞれの需要量を、総出荷量から算出してみたものである。

需要量は日本壁装協会発表をもとに推定した。

表2 需要先別の壁紙需要の推移(2010-2012)

単位:%、千㎡

	2010年度		2011年度		2012年度	
	構成比	需要量	構成比	需要量	構成比	需要量
住宅用	68.6	422,800	62.5	417,200	63.4	426,000
非住宅用	31.2	191,700	37.5	250,300	36.6	245,900
①商業建築	49.6	95,100	44.2	110,600	47.9	118,000
②学校・病院等	20.2	38,700	21.1	52,800	22.4	55,000
③オフィス	19.3	37,000	21.7	54,400	18.0	44,000
④その他	10.9	20,900	13.0	32,500	11.7	29,000
合計	100.0	614,500	100.0	667,300	100.0	672,000

①～④までの構成比は非住宅用を100とした場合の比率。①商業建築はホテル、店舗、飲食店、結婚式場など、②学校・病院等には体育館等スポーツ・教育施設を含む、③オフィスには官公庁施設含む。需要量は10年度と11年度は日本壁装協会統計のもとに算出した。12年度は推計による。

表3 2012年度壁紙需要先比率 新築・リフォーム(%)

	新築	リフォーム
ブランドメーカー	71.8	28.2
二次卸	66.9	33.1
平均	63.4	36.6

表4 2012年度壁紙需要先比率と需要量(%、千㎡)

	新築	リフォーム
新築	65.3	438,816
リフォーム	34.7	233,184

壁装新聞(第398号)より引用